

空間デザイン方針

1. 駅からまちへの人の流れをつくる
 - ・ 通過交通排除・速度抑制策で人優先
 - ・ 駅から本町へアクセスしやすく
2. 沿道と公共空間の一体感をつくる
 - ・ 沿道の土地利用を促進
 - ・ 銀座通りへ溢れ出す空間を重視
3. 人々の居場所や活動の舞台をつくる
 - ・ まちの人、そとの人が好きな時間を過ごす
 - ・ 多様な活動の舞台となるよう
4. エリア固有の風景をつくる
 - ・ 特有の産業・活動を展開してきたまちの履歴とつながる
 - ・ 挑戦に対する寛容性を高め、諸活動を支える体制や仕組みをつくる
 - ・ 魅力的な緑陰、広くみどりの在り方を発信する

計画のポイント

1. エリア間の連続性を確保する
 - ・ 千歳通りの通行止め
 - ・ あるくことのできる地面の連続性を改善
 - ・ 歩道部の質を高める緑陰のデザイン
2. 沿道が溢れ出す、まとまった広場
 - ・ 車道（車が走ってもいい路線）を北側へ寄せて、南側に広場
 - ・ 南側沿道には、沿道からの溢れ出し余地を確保
3. 銀座通から本町通へつながるシンボリックな場
 - ・ ラウンドアバウト部に活動の中心的ステージを確保
 - ・ ラウンドアバウトの円形形状を継承
 - ・ 銀座通公共駐車場と本町通のつながりを強めるデザイン
4. 駅前広場の機能再編
 - ・ 駅前広場の機能を適正に配置し、利便性の維持・向上を図る